画像解析

◆ワイヤレス超音波画像診断装置の機能と活用事例

MSK メディカルサポート株式会社　大槻　宏芳

【key words】富士フィルムメディカル、ワイヤレス超音波画像診断装置、iViz air ver.5

【Abstract】

【概要】昨今、ワイヤレス超音波画像診断装置（以後ワイヤレスエコー）は目覚ましい進化を遂げ、各種メーカーから続々と発売されている。2021 年に開催された第 30 回学術大会にて当分科委員会では 3 機種のワイヤレスエコーの徹底比較と称して、画質、計測機能、価格に至る 20 項目を比較検討した。その際、会員から総合的に好評を得た「富士フィルムメディカル社製 iViz air ver.4」の後継機である「iViz air ver.5」の製品の説明及び活用事例も含め紹介する。ここ数年でどの様な機能が向上したかを確認し、柔道整復師のエコーアイテム候補の一つとして画像解析分科員会から推奨したいと考える。【COI】開示すべき利益相反はありません。【倫理的配慮】本報告は、製品の説明をするもので倫理審査の対象外である。個人情報保護に十分配慮して行う。

◆オンライン診療を利用したエコー画像による骨折同意の試み

帝京大学医療技術学部柔道整復学科、さくらい接骨院　櫻井　庄二

【key words】オンライン診療、エコー画像、骨折同意

【Abstract】

【概要】接骨院に来院した骨折の疑いがある患者に対し、医師によるオンライン診療にてエコー画像による骨折同意を得るという試みを実施し、現在 2 接骨院にて 9 症例に対して、医師、柔道整復師共にレセプト申請を行い、返戻、問い合わせ等一切なく診療報酬を得られたので報告する。【活動内容】訪問診療を専門とする無床診療所の医師と骨折に関する同意について様々な意見を交わし、歩行が困難な患者を X 線検査の為に遠い医療機関まで行かせなければならないケースや、エコー画像所見にて明らかな骨折があるが転位は僅かであるケース等、無論 X 線検査による診断が必要であるが、エコー画像所見でも充分に骨折の有無と程度が判断できる骨折の場合、オンライン診療にてエコー画像を基に医師の骨折同意が得られないか、そして実際にレセプト申請が成立するのかを医師と共同で試みた。【成果・課題】全ての骨折患者は X 線検査の為に他医療機関に行くことなく、接骨院での初診時のエコー画像、エコー動画を基に接骨院内で実施したオンライン診療により医師の骨折同意を得ることができた。その後、医師、柔道整復師それぞれレセプト申請を行ったが共に問題無く診療報酬の振り込みを確認した。今後の課題として、オンライン診療前に医師に送るエコー画像等の患者情報提供資料およびエコー画像の形式、医師、柔道整復師それぞれのレセプト適応欄に記載する内容の共通認識等をルーティン化することが重要と思われ、その土台を構築したいと考える。【COI】開示すべき利益相反はない。【倫理的配慮】本報告は、医師と柔道整復師の診療に関する一連のこころみを報告するもので、倫理審査の対象外である。個人情報保護に十分配慮し、必要に応じて対象者の同意を得た。